

住宅の気密性能試験結果(1)

依頼者	会社名又は氏名	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	電話	000-000-0000
	住所	○○		

測定対象建物の概要		
建物の名称	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
所在地	○○	
竣工年月日	2018/09/01	
構造及び工法	在来木造工法	
建物の規模	地階床面積	- m ²
	1階床面積	65 m ²
	2階床面積	55 m ²
	3階床面積	- m ²
	延べ床面積	120 m ² ……(A)
開口部の仕様	2重窓(引き違い・外開き・内開き) 内開き戸	
主な部位の気密層の仕様	○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
建物概要図	別紙添付図面通り	
通気量を測定した位置	添付平面図に示す	

測定時の建物条件				
	部位	方法	確認	特記事項(左欄以外の処理方法)
1	建物外皮にあるドア・窓	ロック(施錠)だけ	○	
2	天井・床下改め口	普通に閉めた状態	○	
3	郵便受け	普通に閉めた状態	○	
4	車庫に通じるドア	普通に閉めた状態	○	
5	基礎と床の両方を断熱している地下へ通じるドア	普通に閉めた状態	○	
6	換気レジスター	目張り処理	○	
7	台所レンジファン	目張り処理	○	
8	換気扇・天井扇	目張り処理	○	
9	FF 式以外の煙突の穴	目張り処理	○	
10	屋外に通じる排水管	封水の状態	○	
11	集中換気システムの給排気ダクトの屋外側出入口	目張り処理	○	
12	建物外皮の外側にある開口部	普通に開けた状態	○	

測定対象外にした部分(空間)の名称	○○○○○○○○○○○○○○○○○○
同上で延べ床面積(A)に含まれる床面積	- m ² ……(B)
吹抜け・床下・小屋裏など測定対象の相当床面積	0 m ² ……(C)
測定対象とした建物の実質延べ床面積(S)	S=(A)-(B)+(C)= 120.00 m ²
測定対象とした建物の外皮内容積	Vt= 300 m ³ (参考:漏気回数を求めるときに記入)

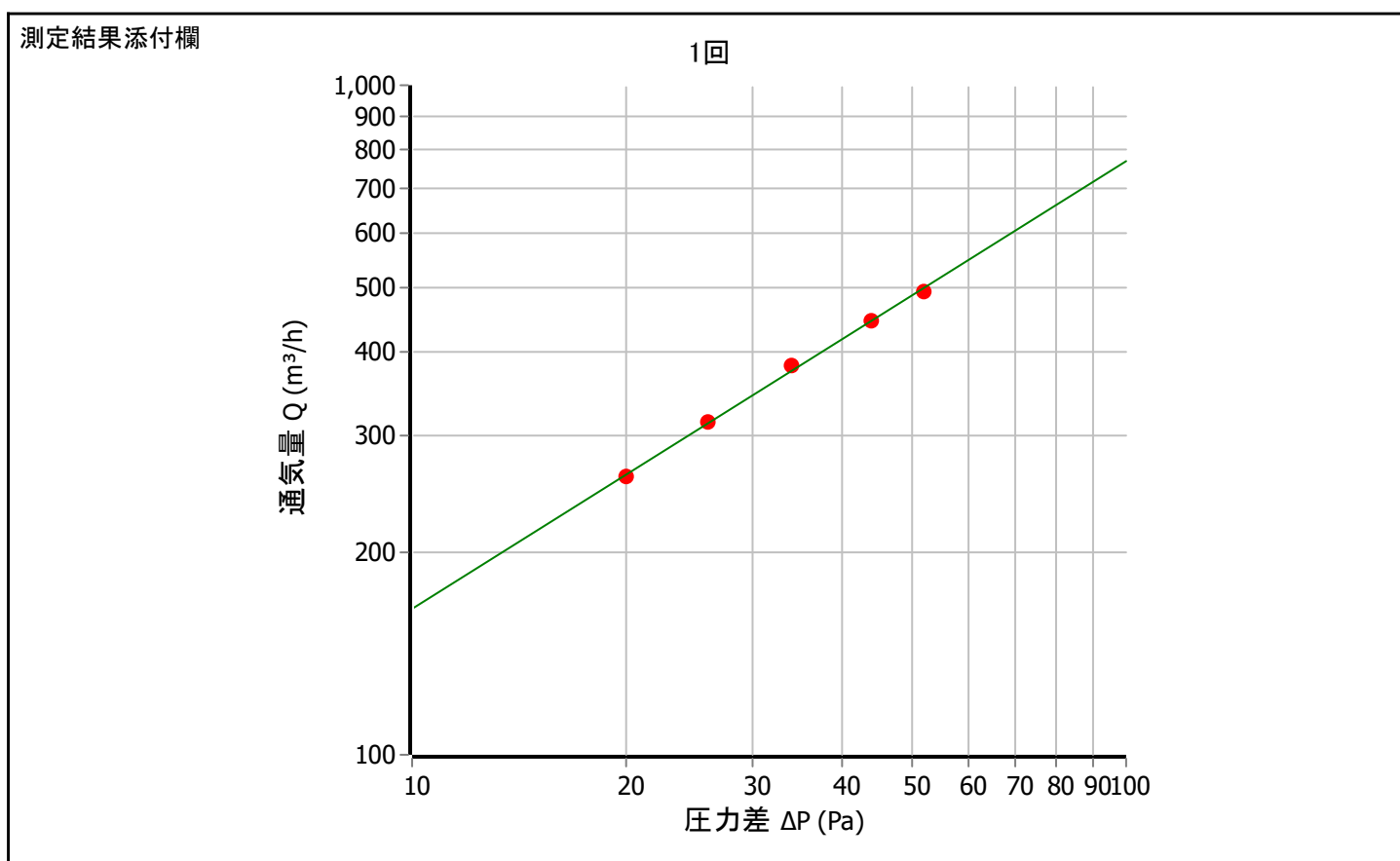
住宅の気密性能試験結果 (2)

測定者・測定方法・測定装置			
事業所	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	登録番号	000-000
測定者	○○○○○○○○○○○○○○○○	登録番号	000-000
所在地	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	電話	000-000-0000
測定方法	JIS A 2201 (送風機による住宅等の気密性能試験方法)による(減圧法)		
測定装置	コーナ-札幌株式会社 KNS-5000C型		

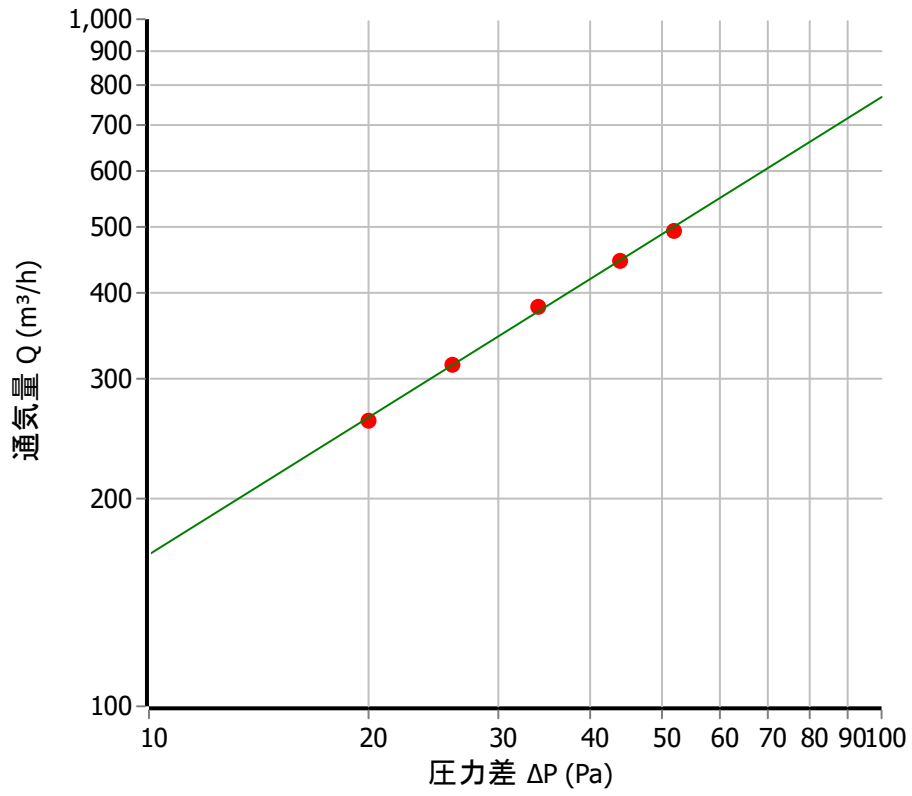
測定時の環境	試験日時	2018/9/1 12:00	天候	晴れ
	風速	2 m/s	風向(主風向)	南東
	風速測定位置	北側	気圧	1000 hPa

測定回	1回				2回				3回						
	室内		24.0		外気		25.0		室内		24.0		外気		25.0
各圧力差 ΔP(Pa) における 通気量 Q(m³/h)	測定点	圧力差 ΔP		通気量 Q		圧力差 ΔP		通気量 Q		圧力差 ΔP		通気量 Q			
	1	20.0		260		20.0		261		20.0		262			
	2	26.0		315		26.0		314		26.0		316			
	3	34.0		381		34.0		382		34.0		382			
	4	44.0		445		44.0		444		44.0		446			
	5	52.0		492		52.0		493		52.0		493			

測定回		1回	2回	3回	平均
決定係数	R ²	1.00	1.00	1.00	-
隙間特性値	n (1 ≤ n ≤ 2)	1.50	1.50	1.51	-
通気率	a (m³/h·Pa ^{1/n})	35.7	35.9	36.4	-
ΔP=9.8Pa時の通気量	Q _{9.8} (m³/h)	163.4	163.8	165.0	-
係数 b	b: b = 0.627 ρ ^{1/2}	0.682	0.682	0.682	-
総相当隙間面積	αA: αA = Q _{9.8} × b (cm²)	112	112	113	-
相当隙間面積	C: C = αA / S (cm²/m²)	0.9	0.9	0.9	0.9
参考:50Pa時の漏気回数	ACH (回/h)	1.6	1.6	1.6	1.6



2回



3回

